

**2010 年度
NPOインターンシップ
事業報告書**

2011 年 4 月

特定非営利活動法人ボランティアネイバース

目 次

第1部 事業報告（本編）

1. 事業の背景と目的
2. 事業実施の経過と日程
3. 研修実施概要
 - 3-1 ステップ1 「基礎講座」 （現場見学と基礎講座）
 - 3-2 ステップ2 「体験研修」
 - 3-2-1 マッチング
 - 3-2-2 現場体験
 - 3-2-3 発表会
4. ビデオ制作
5. まとめ

第2部 資料編

1. 研修資料一式
2. 研修参加者名簿
3. アンケート原紙
4. 広報ビデオ

1. 事業の背景と目的

日本社会は未曾有の少子高齢社会に突入しており、地球温暖化等環境問題等への取組み強化などを含めて、高齢者の社会参画・地域づくりへの協力が求められている。高年労働者に定年後のライフスタイルを聞いた各種の世論調査によれば、4割近くの人が、定年後は地域での社会貢献活動や街づくり活動への参加を希望している。

本事業は、こうしたことを背景に、2008年度から50歳以上の方を対象に地域で活躍しているNPOを知る機会の場合として、「NPO インターンシップ」を始めました。「基礎講座」や「現場見学バスツアー」などでNPOのことを知っていただき、その後、希望者は興味ある団体で「体験研修」を受講し、社会参加の第1歩として、また定年後の地域貢献、地域参加を促進する事をめざして実施しました。

2. 2010年度事業企画のポイント

企画は、4つのステップから構成しています。

2008・2009年度のNPO現場見学は、長久手町のたいようの杜（ゴジカラ村）を訪問しましたが、2010年度は、研修生の多様なニーズに応えるため、「はあとふる基金」の寄付先「愛光園ひかりのさとのぞみの家」を含め4団体を訪問しました。

体験研修及びそのためのNPOとのマッチングは、DECOスクールにおいて、相談コーナーを設けて研修者の希望を聞いて当日参加しているNPOを紹介しました。

現場体験は研修者の居住地域でのNPOとのマッチングを図ることに留意し、体験報告会は、2010年度参加者だけでなく、2008年度・2009年度研修参加者にも参加いただき、その後の状況報告や2010年度参加者との経験交流を深めました。

内容	日時・会場・参加者数等
ステップ1「基礎講座」 知多地域のNPO4団体をバスツアーで訪問し、実地見学と基礎講座を実施。	第1回：2010年6月6日（日）9：00～16：30 第2回：2010年6月13日（日）9：00～16：30 訪問団体：（社福）愛光園ひかりのさとのぞみの家、（特）ネットワーク大府、（特）ゆいの会、（特）地域福祉サポートちたの事務所、施設等。研修者延べ26名。
ステップ2「団体マッチング&相談会」 DECOスクールにおいて相談コーナーを開設。	2010年6月27日（日）9：30～16：00 デンソー本社5号館・イベントホール 相談参加者11名+ほか2名来所。受入可能NPOは34団体が登録。
ステップ3「体験研修」 NPO等で活動体験。1人5日以上体験を目標。	2010年7月から12月の6ヶ月間、NPOで実施。体験団体の情報提供のため市民活動センターなどを紹介した。研修体験者7名。
ステップ4「体験の報告会」 ステップ3で体験した経験を発表交流。	2011年1月15日（日）10：00～12：00 デンソー本社5号館206。研修者15名参加した。
ビデオ制作	2010年6月～1月。 2008年度、2009年度分の取組みをふくめて、本事業を総括的に編集した。

3. 事業実施の経過と概要

2010年5月に受講生募集を「ステップ1：基礎講座知多バスツアー」の案内チラシを配布して行いました。バスツアーは同じ訪問先と行程で6月6日(日)と13日(日)の2回実施しました。延べ26名が参加しました。

3-1 ステップ1「基礎講座」(現場見学と基礎講座①②)

開催日	2010年6月6日(日)、13日(日)の9:00～16:30
会場	(特) ネットワーク大府、愛光園ひかりのさとのぞみの家、(特) ゆいの会、知多市市民活動センター ((特) 地域福祉サポートちた)
参加者	研修参加者26名、事務局3名、ネイバース延べ5名
日程	<p>9:00 本社正門前に集合、バスにて移動</p> <p>9:30～10:10 NPO法人ネットワーク大府(大府市)</p> <p>10:10～10:30 移動</p> <p>10:30～11:10 社会福祉法人愛光園ひかりのさとのぞみの家(東浦町)</p> <p>11:10～11:45 移動</p> <p>11:45～13:30 NPO法人ゆいの会(知多市)。昼食。</p> <p>13:30～14:00 移動</p> <p>14:00～16:00 NPO法人地域福祉サポートちた(知多市)</p> <p>16:00～16:30 移動</p> <p>16:30 本社正門前バス着</p>

【訪問見学した各NPOの概要】

①【NPO法人ネットワーク大府】

所在地	大府市森岡町1丁目30番地
沿革	<p>1992年に大府市地域福祉を考える会「ネットワーク大府」が設立され、99年にNPO法人として認証を受け、2000年から介護保険事業をスタートさせ、以降今日まで下記の事業を展開。</p> <p>2001年に通所介護事業所「あいこでしょ」</p> <p>2003年に「追分デイサービス」、「障がい者居宅介護」開始</p> <p>2004年にグループホーム「わかくさ」</p> <p>2006年に配食サービス、小6までの病児・病後児保育</p> <p>2007年に多機能ホーム「いしがせ」開所、「キッズクラブ」開始</p> <p>2008年に普通救命講習開始</p>
実施している様々な事業	<p>市民生活支援サービス：デイサービス「あいこでしょ」「このゆびとまれ」、家事援助、介護・子育て・移送サービスなど。</p> <p>地域ふれあいサービス：さをり織り・麻雀の会など。</p> <p>介護保険事業サービス、障がい者自立支援、ヘルパー養成事業など。</p> <p>大府市委託事業：配食サービス、キッズクラブ事業など。</p>
利用者	訪問介護約226名、あいこでしょ25名、わかくさ9名他
職員	常勤20名、非常勤205名、ボランティア600名

【レクチャー概要】（矢澤久子代表）

高齢になり日常の生活を維持することが困難になった時、“ほんの少しの助け合いやわずかな援助で住み慣れた場所で人生をまっとうできるならば”との思いが1992年大府市地域福祉を考える会「ネットワーク大府」を設立させました。

介護保険制度が2000年4月から始まることを見込んで、1999年介護保険事業となるべくNPO法人格を取得した。しかし、当時、たすけあい活動に参加するスタッフはヘルパー2級の資格を殆どが持っていなかった。そこで、130時間の講義を実施しヘルパー養成事業を行った。現在25回目となり、延べ850名を養成した。

デイサービス「あいこでしょ」は、本年4月から25人規模になり、また「わかくさ」は9人がグループホームしている。地域ふれあいサービス事業では、男性が参加しやすいように“麻雀の会”を作った。こうすることで、家に閉じこもらなくなった。

このように地域の方のニーズを素直に形にすることを心掛けてきた結果、NPO法人において、愛知県下で事業規模では1位、2位を競うNPOになった。これからも地域のニーズに応えていきたい。

【研修生の感想など】

参加者は矢澤代表のレクチャーの後、施設内を見学。「さをり織り」の織機がある部屋や個室、デイサービスの食堂、くつろぎの部屋や麻雀部屋等々を見学。事務所は2階部分にあり、パソコンがぎっしりと並んでいた。「こんな綺麗な立派NPOは初めてだった」との感想もありました。



②【(社福) 愛光園ひかりのさとのぞみの家】

所在地	知多郡東浦町大字緒川字東米田 22 番地
沿革	1965 年 4 月プレハブを建てて重度障害児の為の通園施設を開設、66 年に財団法人愛光園設立。 1973 年に社会福祉法人として認可を受け、78 年に身体障害者療護施設「ひかりのさとのぞみの家」を開設、以降、入所施設や知的障害者支援や高齢者支援事業なども展開し、「誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざし」（基本理念より抜粋）活動している。50 年近い活動の歴史がある団体。 2006 年からは障害者自立支援法に対応した新しい事業や介護保険制度に関わる事業を開始、09 年には食事サービスセンター事業、2010 年には就労支援事業などを実施している。
愛光園が実施する様々な事業	障害者支援事業：障害者支援施設「ひかりのさとのぞみの家」、同「まどか」、障害者福祉サービス事業所「ひかりのさとファーム」、「障害者就職トレーニングセンター」、発達支援センター「おひさま」、障害者生活支援センター「らいふ」、共同生活援助事業・共同生活介護事業愛光園地域居住サポートセンター「こちち」、居宅介護事業ヘルパーステーション「りんく」など。 高齢者支援事業：介護老人保健施設「相生」、グループホーム「もくせいの家」、デイサービスセンター「こぶし」。
利用者	44 名（定員 50 名）、入所希望の待機者が 50 名程おられる。
職員	60～65 名（パート含む）、ボランティア 5,000 人を超えるという。

【レクチャー概要】（加藤俊一施設長）

「単なる収容施設ではなく、その人（人間）にふさわしい住居や設備、生き方を考えることが出来るところ、各自の自己実現ができるところ」をめざして、土地探しがスタートしました。

1973 年の暮れ、彼らの願いを知った日高昇さんという方が、ご自分が経営されている農場の一部を「どうぞ活用しなさい」と無条件で提供されました。この願ってもない御好意を受けて、夢を現実のものとするため、「ひかりのさとの会」をつくり、多くの方に協力していただき、福祉社会の理想実現を願っての活動が開始しました。

農地の開墾、バザーの開催、多くの人々の喜びと苦勞、「ひかりのさとの会」の運動が実を結び、1978 年、身体障害者療護施設「ひかりのさとのぞみの家」が誕生しました。そして、2006 年より障害者自立支援法による「障害者支援施設」として新たにスタートさせるとともに、介護保険制度に関わる高齢者支援事業も開始しました。

“最近、大部屋を 3 人から 2 人用にしました。半数超える部分が 1 人部屋です。施設も 30 年が経ち古くなり改築が必要になっている。また、入居者も歳をとったのでそうしたことに対応した施設づくりやサービス作りが必要になっている。

車イスは障害の程度や性格・特性により全部違う。一人一人違うとっていい。それに

対応した車イスを提供している。入所希望待機者は 50 名くらいいる。身体障害の方は少なく知的障害の方が多い。

「ボランティア無くしてはここまでやって来られなかった」と思う。例えば、ここに、「DENSO はあとふる基金寄贈」との文字が入ったお風呂や 24 時間動いているドラム式の乾燥洗濯機があるが、これはデンソーさんから寄贈頂いたものです。大変高価なものなので、自分たちの力ではなかなか購入できない。

スタッフは常時 30 数名がいる（交代勤務）。ボランティアさんは、年間で 5000 人くらいの方が手伝ってくれている。ある団体は 4 グループに分かれ定期的に 1 回 5~6 名が繕いやバザーの製品を作ったりしてくれている。新入社員の研修ということで 70 人の方が清掃作業に来て頂いた事例もある。



③【NPO法人ゆいの会】概要

所在地	愛知県知多市新知字西屋敷21
沿革	1991年、助けあい・学びあい・育ちあい「ともに生きる地域社会を」を理念として、施設ボランティアや在宅サービスを開始、その有償サービス部門として「ゆいの会」が発足。 99年にNPO法人として設立。2000年介護保険制度の発足とともに介護事業スタートさせ、配食サービス開始。さをり織り、牛乳パックリサイクル、パソコン教室、陶芸教室などを展開。02年にアトスコーレ（子ども館）を開校、03年には障害者・児の居宅介護事業を開始、05年に福祉有償運送事業の認可を受ける。
ゆいの会の実施する各事業	介護事業：訪問介護事業所、介護予防訪問介護、障害福祉サービスとして居宅介護、移動支援事業。 たすけあい在宅サービス：ゆいサロン（ミニデイ）、施設ボランティア、移送サービス、配食サービス。 たすけあいふれあい予防：さをり織り、陶芸、パソコン、絵手紙、紙すき、石鹸、パッチワーク、アトスコーレなど。
利用者	会員 355人
職員	職員 45名、ボランティア 12名

【レクチャー概要】（鈴木信重代表）

【注】ゆいの会では、設立15周年にあたるので、活動を紹介するビデオ映像を作っており（約20分ほど）、最初にそれを見せて頂きました。

“ゆい”とは、“結い”の意味で、農村社会などで、労働力を対等に交換し合って共同作業を行う相互扶助組織のことです。

1991年に、今の世の中“何かがおかしい”と女性達が立ち上がり、助け合い活動（食事、洗濯、掃除、送迎、託児、…）が始まりました。

参画する女性の自立のため、またこうした活動の継続性や責任が課題となり、無償のボランティアではなく、有償の活動として開始した。助ける方も助けられる方も、いつかは自分が同じ身になるということで、どちらも同じ会員になっています。

95年にさをり織りの研修を受け、ふれあい活動を開始し、97年に牛乳パックリサイクル、98年に陶芸教室、99年にパソコン教室を開始した。知的障害の方がおられるがさをり織りを大変得意にしておられる。作品展やファッションショーを開催していますが、笑いが無いとふれ合っている感触がないので笑いを絶やさないようにしています。

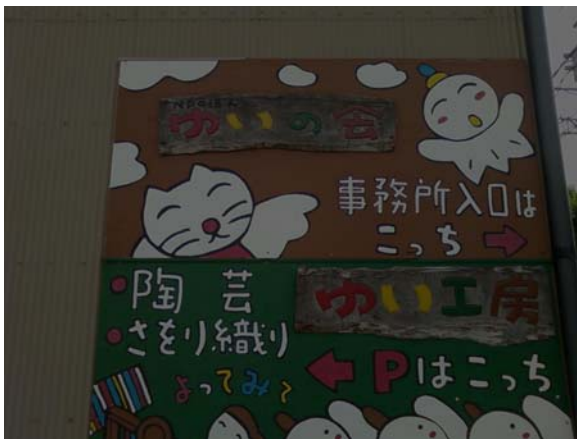
2000年から介護保険事業に参入した。制度は固まるしい面があるので、“違和感が無いように生活に入り込む”という点を心がけています。

これからの課題は人を育てることです。2006年、JICAが視察に来ました。NHKテレビの取材もあり、去年はイギリスからも視察が来た。どこの国でも課題は同じで同じような取り組みをしていることがわかりました。

この施設は、元は知多木綿の織物工場だったところです。初めは事務所部分だけを使っていたが、活動が広がるにつれて今ではすべてを使っている。倉だったところは改修し、さをり織りの作業所になっています。事務所や工員の宿所部分は、あまり手を入れなくて使えたが、機械のあった場所は地面に油が充満していたので砂をまいて油を取った。現在、そこはスタッフやお客の駐車場として使っています。

【感想など】

さをり織りの織機が置かれた部屋ではグッズの販売もしていました。パソコン教室の部屋、事務所、陶芸教室、駐車場、それに配食サービスの「ゆい膳」などがあり、大変親しみやすい施設でした。昼食をこの「ゆい膳」でスタッフの方に準備して頂いて頂きました。ヘルシーでお値打ちで美味しい食事でした。



【④NPO法人地域福祉サポートちた】

所在地	愛知県知多市緑町12-1
沿革	<p>1990年、知多地域に市民互助型在宅福祉サービス団体が生まれ始めたことを契機に団体交流が始まった。これが母体となって、96年WACちた、ちたネットが結成され、98年に「ちた在宅ネット」が設立、11団体が参加した。</p> <p>1998年のNPO法施行にあわせて、99年、「NPO法人地域福祉サポートちた」として法人格を取得した。01年に知多市がNPO・ボランティア情報ひろばを開設し、その施設運営を受託、2007年からは現在の施設へ移転した。</p> <p>この間、介護ヘルパー養成講座などを実施、02年にはNPO現場見学バスツアーを開始したが県内だけでなく全国からも参加者が続出している。03年には、現施設で「Adacoda(ワンデイシェフのカフェ)」をオープンし、地域の「溜まり場」となっている。</p> <p>07年、本団体が母体・基盤となって、知多5市5町が参加する「NPO法人知多地域成年後見センター」を設立した。</p> <p>知多地域におけるNPOの中間支援組織として活動、NPO約50団体が加盟している。</p> <p>人にやさしいまちづくり賞なども受賞している。</p>
地域福祉サポートちたの各事業	そだちあう：人材育成・研修事業、であいをつくる：情報交流促進事業、きいて、こたえる、つなぐ：啓発・相談事業、しらべてつたえる：調査・研究・提言事業、おうえんする：市民活動支援事業。
利用者	会員53団体。サポートセンターとして120団体。
職員	スタッフ10人

【レクチャー概要】（市野めぐみ事務局長）

NPO法人地域福祉サポートちたは、知多半島を中心に約50団体で作っている協議体型のNPO法人で、中間支援組織です。

知多地域で、「地域たすけあい活動」が始まったのは1990年で、たった一人の方の思いから始まりました。奥さんが倒れ、学生の息子さんを育てながら看病されましたが、「少しでも家事を助けてもらえたら、少しでも支援があれば助かるのに…」との思いがあり、60歳退職の機会に、「家事援助の会」を立ち上げられました。家事は家庭内でやってくださいと言う時代です。しかも男性の方が開始されたので注目を集めました。

この活動が段々と知れわたり、知多地域にひろがっていきました。活動のノウハウ、やり方をこの方はオープンにされました。誰にでも教えられました。知多地域が地域福祉の先進地と呼ばれるようになった大きな一因です。

その後、こうした団体が交流会や勉強会を重ね、2級ヘルパー養成講座など共通の課題を共同で実施したり介護保険制度の勉強会を共同で実施したりなどして、ネットワーク化が進み、1998年ちた在宅ネットを11団体で設立し、1998年のNPO法施行や2000

年の介護保険制度導入をきっかけに、99年11月にNPO法人として設立されました。

その後、互いの学び合いが深まり、高齢者支援の活動だけでなく障害支援や子育て支援などの活動を共有し、事業規模が飛躍的に拡大してきました。

現在、知多市が設置した知多市市民活動センターを管理運営し、地域の市民団体やボランティア団体を支援しています。

知多市市民活動センターは知多市の様々な市民活動を応援する総合拠点で、NPOサポートセンター、社会福祉協議会総合ボランティアセンター、NPO法人知多市民大学の事務局があり、また、2階には知多市市民活動推進課の事務室があります。

NPOと行政、社会福祉協議会が同居し、協働している事例として注目されています。



3-2 ステップ2 DECO スクールで「NPO とマッチング」

6月27日（日）9:30～16:30 デンソー本社5号館で開催しました。

・10:00 から 11:00 まで、DECOスクールに出展しているNPO団体のうち、体験研修受け入れを承諾した団体の一覧表での紹介やマッチング方法を説明。

・その後、DECOスクール2010に出展しているNPOのブースを回り情報収集した後、自分に合ったボランティア体験を相談コーナーにて相談し、今後の体験計画を打ち合わせました。

・相談コーナーに訪れた方は13名で、訪問団体が大体確定した方が10名、見つからなかった方が1名、2名はNPOやボランティア活動一般について質問に訪れられた方でした。



DECO スクール会場へ行く前にレクチャー



DECO スクール 2010 会場



相談コーナーでNPO/ボランティア体験を相談。当日参加のNPOを紹介・マッチング。



3-3 ステップ3「現場体験」

- ・DECOスクールでの相談会（相談コーナー参加者は13人）をスタートに、7月から12月までに一人5日間程度のNPO現場体験を目標にした。
- ・これまでの体験から、居住地域でのNPOとのマッチング体験を促すため、地域の市民活動サポートセンターで情報入手する方法や案内同行の希望を募ったり、有力な受入NPOなどを紹介した。
- ・体験希望や体験に関心を持たれた方は16名あったが、実際に体験された方が7名で、市民活動センターへ訪問（大西同行）された方が1名、情報入手出来て準備が整ったという方が1名、意欲はあるが実践の一步は踏み出せないままだった方が7名だった。

3-4 ステップ4「報告交流会」

2011年1月15日（土）10:00～12:00、デンソー本社5号館206abにて開催。
研修生15名参加。

- ・澤井担当から「3年目に入り、事業の認知度はあがっているが、なかなか参加者が広がらない面があり、今度の課題である。みなさんの協力をお願いしたい」とご挨拶があった。
- ・2010年度研修参加者だけでなく、2008・2009年度研修参加者にも参加をして頂き、NPO現場体験への参加者の拡大やそのアプローチ方法を話し合うことをねらいました。
- ・ボランティアネイバーズの大西から、政府の「新しい公共」政策について、NPOに寄付をすると税額控除を受けられる制度の導入が



検討されていることを紹介するとともに、愛知県から委託を受け実施中の「NPO法人雇用実態調査」について、NPOで働く人は「生きがい」を求めていること、また女性が圧倒的に多いだが、60歳代は男性の比率が他世代より高いことなどを報告した。

・この後、体験の感想や今後の本事業への提案や意見、事業終了後の希望などについて、質疑討論を実施した。

【出された発言や意見】

Aさん

・ボランティアサークル「郷東川をきれいにする会」を DECO スクールで見つけ、現場体験で飛び込んでみた。郷東川は安城市に 10 年位前に作られた用水路だが、ごみが増え荒れてきたので、月 1 回、4～5 人でゴミ掃除のボランティアをしている。今まで 4 回参加したが、わかったことは、「ごみがすごいなあ！」ということで、おむつがいっぱい捨ててあったりする。

Bさん

・再雇用の間に情報収集したい。NPOの実態を勉強させていただきたいと思って参加している。

Cさん

・2008 年、2010 年と 2 回参加している。ボーイスカウト少年団の活動に参加しているが私設なので、行事への補助がない。昨年 10 万円の補助をデンソーのはあとふる基金から受けたが、何か知恵はないでしょうか。NPO に格上げできれば何とかなのではないかと考えているが、人、金、物が揃わないと無理かなと思う。子供もなかなか増えない。あと 3 年で定年になるので、今は情報収集している。

*大西のコメント

・子育ては日本社会の大きなテーマなので、様々な補助や支援制度が生まれている。また、「あいちモリコロ基金」なども活用すれば良い。申請書の書き方などについては相談コーナーがかいせつされる。

Dさん

・2008 年に参加した。家にいると時間を持て余すかと思いボーイスカウトやバンド等で月 4～5 日使っている。現役の今はボランティア時間が無いが、間もなく定年になる。町から少年補導員をやってくれと言われている。

Eさん

・2009 年のゴジカラ村ツアーに参加した。会社の山岳部でキリマンジャロ植林など社会貢献活動していることから研修に参加した。今回、案内が来て本日参加している。55 歳。

・NPOがどういうことをしているのか？どういう風に入っていくのか？1日の研修ではわからない。年に1回、キリマンジャロへ文房具を持っていっているが、一部の部員の活動になっている。全員が意識を高める為にはどうしたら良いのか？定年に向けて本格的な活動をするためのノウハウが欲しい。

Fさん

・あと5年で定年です。在職中にどうするか考えておきたい。山岳スポーツをしている。一般社員連れて年1回行っている。障害者の子を背負って登ったりしている。そういう活動は出来るので、紹介して欲しい。

Gさん

・2009年度に参加した。ゴジカラ村が印象的だった。現在は活動していないが、50歳すぎから時間の余裕が出来てきた。ボランティア活動するかなと思っている。きっかけに何かやりたい事を探そうと思うが、行動に繋がらない。昨年、刈谷国際交流協会の講習を3日受けたが教える人が多くて逆に生徒が少ない。なかなか契機が掴めないが、母が85歳なので、介護が必要になってきている。介護の勉強をしてみようかと思う。色んなものを体験してみたい。

*大西のコメント

・介護教室などは第1歩かもしれないと思います。第1歩を踏出せるようにしよう。一人で電話をかけて行くのはむづかしそうなので、一緒に行きましょう。

Hさん

・環境問題に関心がある。趣味がへら鮎つりです。ごみや外来種が気になっているが、一人じゃ何も出来ないでいる。釣りに行くエリアは、西尾市の池、静岡、滋賀、三重、太田川、東浦の池にも出かけている。何かできるでしょうか。

*大西のコメント

・西尾市には、花ノ木町に総合福祉会館ボランティアセンターがある。情報が得られる。また、「西尾をきれいにしよう」という団体がある。紹介します。

・「ボランティア情報が欲しい」との指摘があり、スマイルゆうネットというトヨタグループ9社で維持運営しているボランティアサイトがあるが、知られていないことがわかり、今後の改善点として確認し合った。

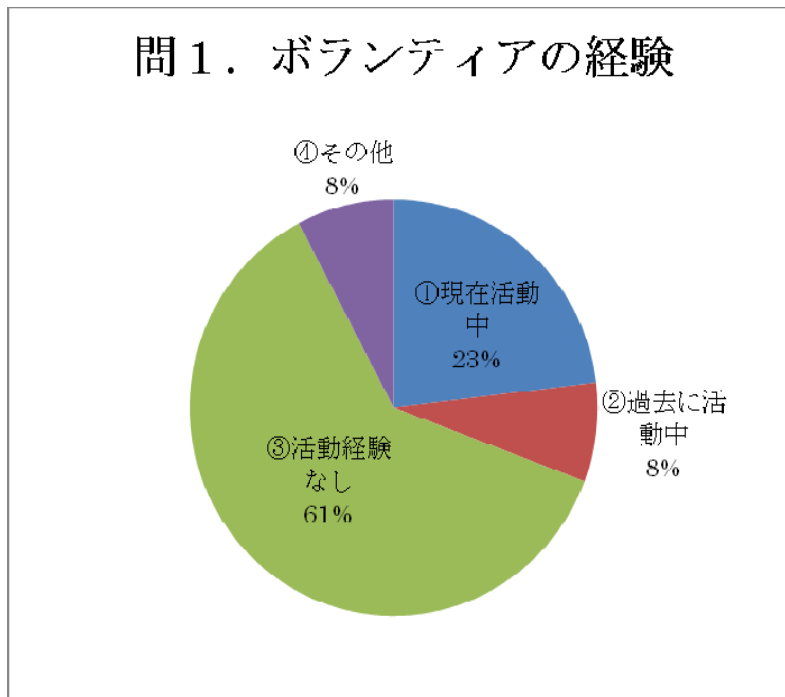
・また、退職後はこうした情報のやりとりが出来なくなることについて、継続性についての要望があり、どのようにできるか可能性を話し合った。

以上

【別紙】 NPO現場見学バスツアーアンケート結果

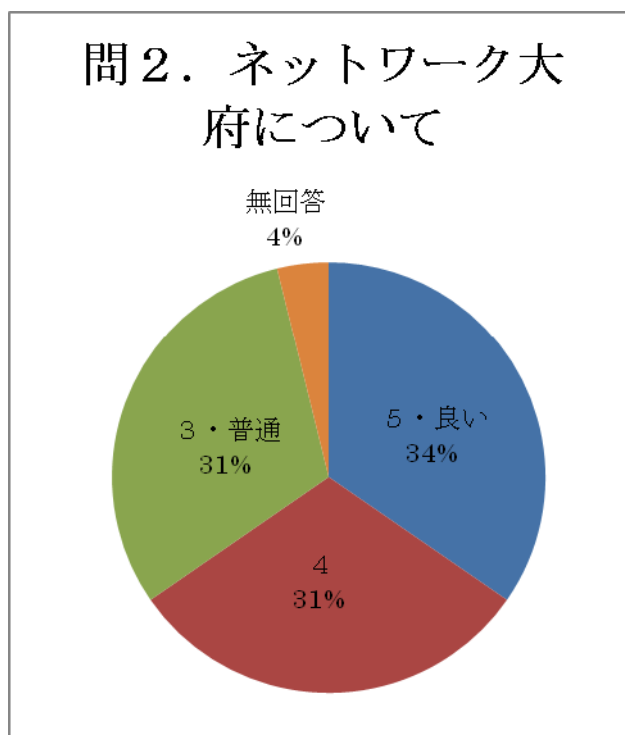
問1 ボランティア活動の経験

①現在活動中	6
②過去に活動中	2
③活動経験なし	16
④その他	2
計	26



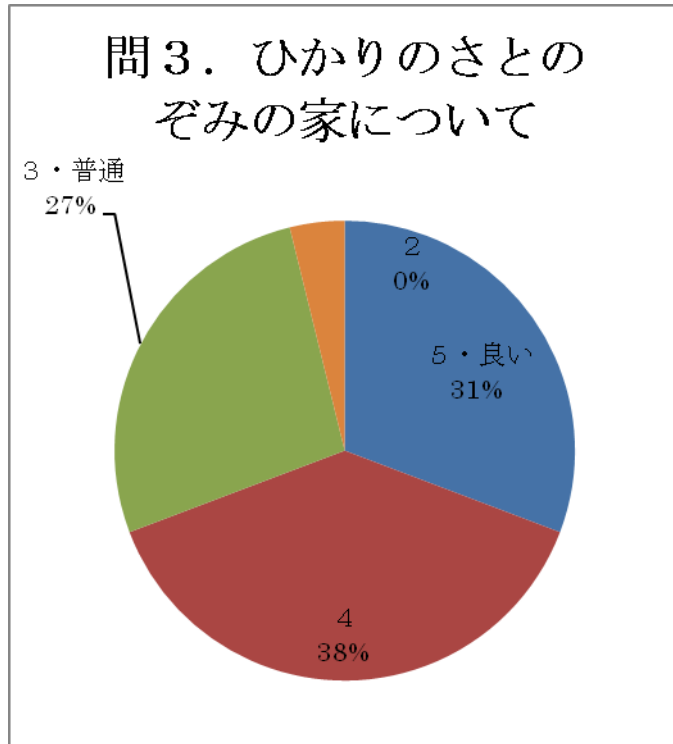
問2 ネットワーク大府についての感想評価

5・良い	9
4	8
3・普通	8
2	0
1・悪い	0
無回答	1
計	26



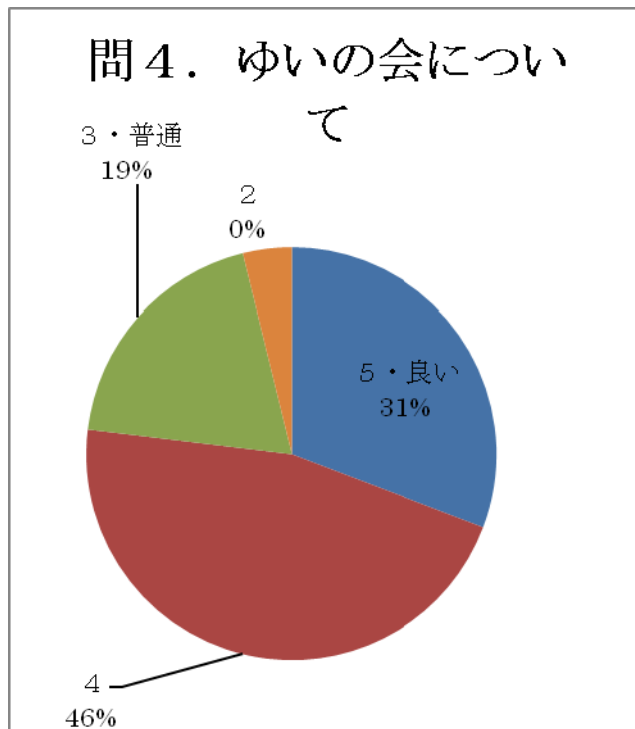
問3 ひかりのさとのぞみの家についての感想

5・良い	8
4	10
3・普通	7
2	0
1・悪い	0
無回答	1
計	26



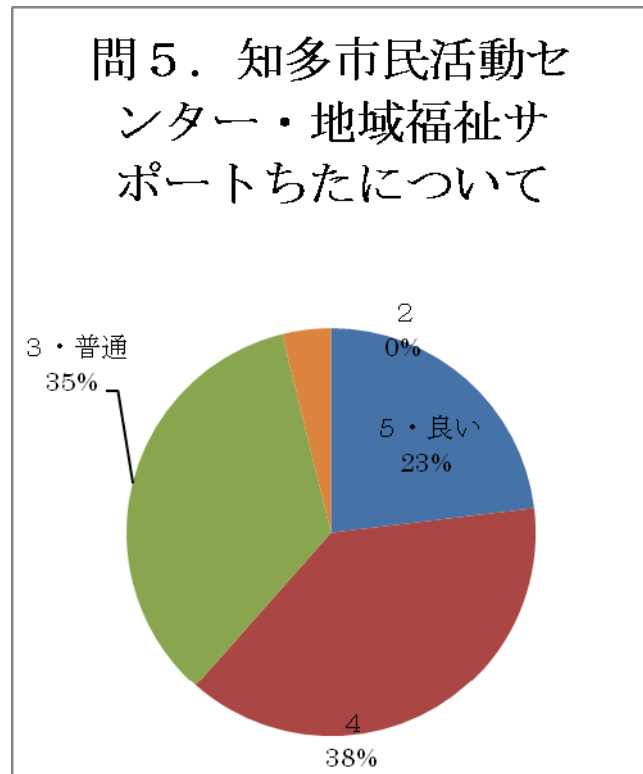
問4 ゆいの会についての感想

5・良い	8
4	12
3・普通	5
2	0
1・悪い	0
無回答	1
計	26



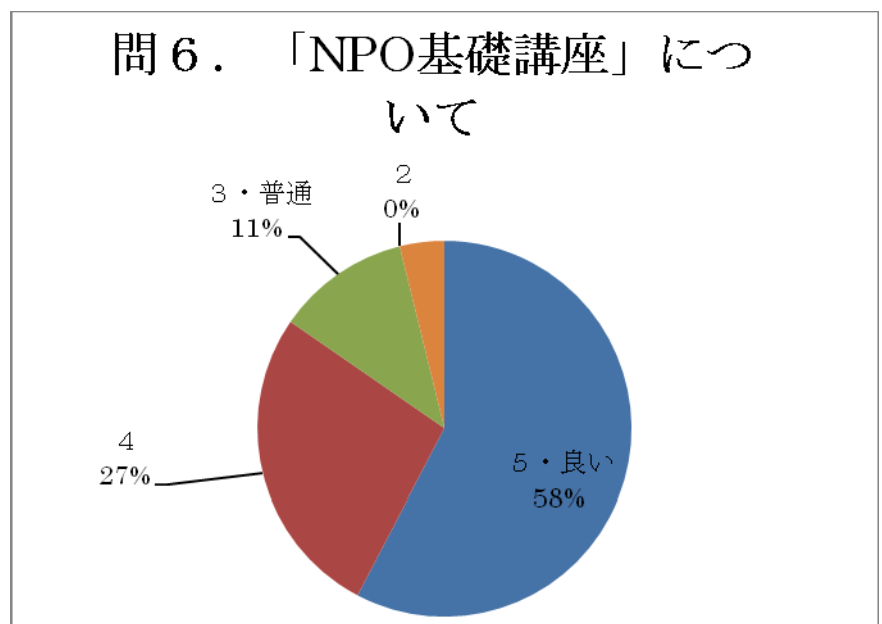
問5 知多市民活動センター・地域福祉サポートちたについての感想

5・良い	6
4	10
3・普通	9
2	0
1・悪い	0
無回答	1
計	26



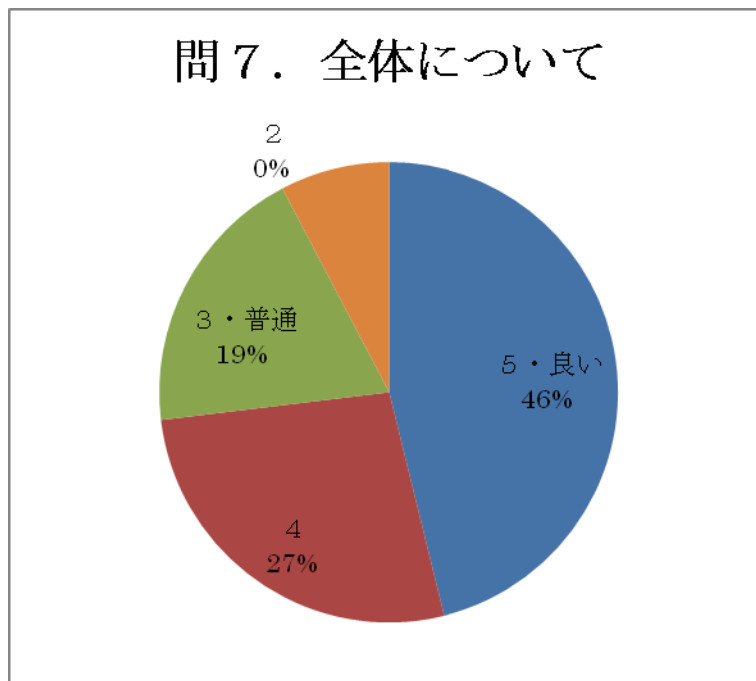
問6 「NPO基礎講座」(大西光夫講師)についての感想

5・良い	15
4	7
3・普通	3
2	0
1・悪い	0
無回答	1
計	26



問7 バスツアー全体の感想

5・良い	12
4	7
3・普通	5
2	0
1・悪い	0
無回答	2
計	26



【アンケートに関する総評】

- ・研修参加者の多くは、活動経験のない方である。(約 60%)
- ・バスツアー現場見学への全体的な評価は 3 / 4 の方が評価をしている。
- ・個別の訪問団体への評価は、2 / 3 の方が評価をしている。
- ・ゆいの会への評価が 80% で最も高い。
- ・5段階評価で一番高い 5 の評価が多いのは、ネットワーク大府で 1 / 3 ある。
- ・サポートセンターに関する評価は、他と比べて低い評価になっている。
- ・NPO基礎講座については 90% が評価しており、概論が必要なことを示している。

ご感想お聞かせください!

お名前()

問1 まず初めにお伺いいたします。ボランティア経験はありますか。*○印を付けて下さい。

- ①、 現在活動中 ②、過去に活動 ③、活動経験なし ④、その他()

問2 ネットワーク大府の見学お話について、どんな気づきや学びがありましたか?ご意見、ご感想をご自由にお書きください。

良い		普通		悪い
5	4	3	2	1

問3 ひかりのさとのでみの家について、どんな気づきや学びがありましたか?ご意見、ご感想をご自由にお書きください。

良い		普通		悪い
5	4	3	2	1

問4 ゆいの会について、どんな気づきや学びがありましたか?ご意見、ご感想をご自由にお書きください。

良い		普通		悪い
5	4	3	2	1

問5 知多市民活動センター・地域福祉サポートちたについて、どんな気づきや学びがありましたか?ご意見、ご感想をご自由にお書きください。

良い		普通		悪い
5	4	3	2	1

問6 「NPO基礎講座」(大西光夫講師)について、どんな気づきや学びがありましたか?ご意見、ご感想をご自由にお書きください。

良い		普通		悪い
5	4	3	2	1

裏面にもアンケート項目があります。よろしくお願ひします。

問7 そのほか、全体的にみて、お気づきの点、改善すべき点がありましたら、ご自由にお書きください。

参考になった	まあまあ参考になった			参考にならなかった
5	4	3	2	1